

2020
4月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第188号-①【基準日 2020年3月31日】



🌸 社長メッセージ



危機時の資産運用で大切なこと



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も4月になり新年度を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、皆さま不安な思いで日々を過ごされていることと思います。

先月は新型コロナウイルス感染拡大とともにマーケットは歴史的な乱高下をして大きく調整した1ヶ月でした。NYダウは1000ドル単位、日経平均株価は1000円単位で上下動するジェットコースターのような相場展開に、2008年のリーマンショックの金融危機時を思い出されたお客様も少なくなかったのではないのでしょうか。

そのような中で、先月はスポット購入の買付件数が平常時の5倍以上になりました。また、定期積立サービスの金額増額や積立再開の申し込みをされるお客さまがたくさんいらっしゃいました。このような非常時においても将来のための資産運用を皆さまに継続していただけるのは大変有難いことです。この場を借りて感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

世界中に感染拡大する新型コロナウイルス

さて、中国武漢から感染拡大した新型コロナウイルスですが、その感染拡大は世界中に急速に広がっています。先月初めの時点では、韓国、イラン、イタリアでの感染拡大が広がっていましたが、その後、欧州各国で爆発的に感染が広まり、そして、現在の感染拡大の中心地は米国で、感染者数が世界一になるというように1ヶ月前には想像もできないくらい、日々目まぐるしく情勢が変わっています。

日本においては全国一斉休校による混乱と自粛ムード、東京五輪の開催をめぐる動きの中で日々状況が変化していましたが、新型コロナウイルス感染については、海外に比べて相対的に感染者が少なく、3連休の頃には自粛ムードも緩んで来ていましたが、東京五輪延期決定後、月末にかけて国内感染者数が東京を中心に急増してきており、緊急事態宣言を出す瀬戸際の予断を許さない状況になってきています。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

そのような中で、各国とも金融政策から財政政策まで前例のない規模でマーケットや経済への影響を最小限に抑えるべく対策を次々と打ち出して、マーケットをなんとか一旦小康状態に落ち着かせていますが、欧米では都市封鎖を実施し、新型コロナウイルスとのまさに戦争状態になっており、実体経済へ与える影響は当初考えられていた以上に落ち込む可能性もあり、引き続きボラティリティの高い相場展開の中、二番底を探る動きが予想されています。



日本においても対岸の火事ではなく、新型コロナウイルス感染拡大の収束までに長期戦を覚悟しなければいけない状況になる中、実体経済への深刻な影響が懸念されています。景気後退が長引き、企業業績がさらに悪化すれば、雇用や生産、消費にも大きな影響を与えることになるでしょう。

今回のコロナ危機は、世界的な感染拡大をいかに防ぎ収束させていくかが大切で、世界中の人の命がかかわってくる問題ですが、難しいのは感染拡大を防止しようと対策を強化していくと経済活動であるヒト・モノ・カネの流れを世界中で止めていかなければならず、やり過ぎてしまえば世界中の経済活動がストップしてしまい経済的に生活できなくなってしまう人が大量に発生してしまうというトレードオフの関係にあることです。リーマンショックなど従来の危機との根本的な違いはそこにあり、新型コロナウイルス感染拡大の収束見通しが見えてくるまでは、景気や企業業績の本格的な回復は見通しにくいでしょう。

危機時の資産運用で大切なこと

このような危機の時において資産運用で大切なことは、①相場動向に一喜一憂しないこと、②将来に対して過度に悲観的にならないこと、③資産運用の目的と運用方針を再確認して、目標に向かってブレずに忍耐強く継続していくことです。

まずは冷静になることです。リスク許容度が変わらなければ、短期的な相場動向に一喜一憂せずにそのまま資産運用を継続していくことが大切です。冷静さを失って換金する予定でなかったのにパニックになって売却してしまったり、一旦利益確定して相場が落ち着いて回復してきたらまた投資しようとしていたりする行動は、人間の感情や心理としてはよく理解できますが、リーマンショックの金融危機時と同様に、ここで止めるか続けるかで将来の運用成果に大きな差がつくことになり、せっかくここまで資産運用を続けてきたことが台無しになってしまいます。逆に、マーケットが大きく調整している時期は、例えるならバーゲンセール期間中のようなものなので、もし余裕資金があれば追加投資を検討してもよいかもしれません。



また、こういう時期は、実体経済が悪くなってきますので、景気や企業業績、雇用の悪化、売上減少による倒産など悪いニュースしか流れなくなりますが、過度に悲観的にならず中長期目線で考えていくことが大切です。新型コロナウイルス感染拡大のピークと収束時期は2~3か月後かもしれませんし、半年以上先、もしかしたら1年以上かかるかもしれません、現時点で見通しはわかりませんが、いつか収束したタイミングでは、下がり過ぎたものは反発して適正な価格水準に回復してくるでしょう。

株式市場は、今までにショックや危機と言われるものを幾度となく乗り越えてきました。そして、その度に大きな下落から回復してきました。今回のような危機は毎年起こるわけではありませんが、長期の資産運用をしていく中では起こりうるものです。将来のための長期の資産運用の時間軸で考えれば、今回のコロナ危機も一時期の出来事として振り返られることでしょう。

この機会に改めて、何のために資産運用しているのか、どのように資産運用するのか、自分の資産運用の目的と運用方針をもう一度再確認していただき、目標に向かってコツコツと忍耐強く継続していくことが資産運用で成功するためにはとても大切になります。

短期的な相場変動に惑わされず国際分散投資を継続

世界経済の成長は、新型コロナウイルス感染拡大が収束するまでは短期的には大きく落ち込み、予想以上に下振れするリスクも少なくありませんが、それでも中長期の目線で見れば、世界経済は長期的な世界の人口増加とそれに伴う生産・消費の拡大を成長ドライバーに今後も成長していくと考えられています。



ありがとうファンドでは、引き続き短期的な相場変動に惑わされることなく、長期投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を長期で享受できるように、幅広い国や地域の質の高い企業に厳選投資しているファンドに国際分散投資をするとともに、リスクオフ局面、金利低下環境で相対的に価値向上が期待できる金(ゴールド)にも投資することでリスクを抑えながら安定したパフォーマンスの提供を目指してこれからも運用を行って参ります。

先行き不透明な状況がしばらく続きそうですが、引き続きお客様の資産運用を一生涯サポートできるように、役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,198円	▲13.46%
3年	18,161円	▲13.28%
5年	16,999円	▲7.35%
10年	12,511円	+25.88%
初回(2004年10月)から	11,571円	+36.11%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、10年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのわかるかと思います。

2020年3月31日現在(基準価額: 15,749円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 セミナーのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況などを鑑みて、お客さまの安全を最優先して当面の間、セミナーの開催を中止させていただきます。何卒ご理解・ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🌸 お電話フリーコール受付時間変更のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、弊社では役職員の時差通勤、在宅勤務及び自宅待機を可能な範囲で取り入れていくことにいたしました。つきましては、2020年4月6日(月)よりお電話フリーコール受付時間を10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)までに当面の間変更させていただきます。尚、電話受付時間以外については変更なく通常通り営業いたします。また、インターネットからの資料請求・お問合せ、マイページサービスについては24時間365日ご利用いただけます。何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

<p>【変更前】8:30～17:30(土日祝日、年末年始を除く)</p> <p>↓</p> <p>【変更後】10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)</p>

🌸 本人確認書類の取り扱い変更のお知らせ

この度、2020年4月1日より「犯罪による収益の移転防止に関する法律」の改正に伴い、本人特定事項の確認が厳格化されるため、新規口座開設、特定口座の開設、住所・氏名の変更時にご提出いただく本人確認書類の取り扱いに変更が生じます。つきましては、2020年4月1日以降に弊社に到着する書類分より、必ず2種類の本人確認書類をご提出いただく必要がございます。

尚、マイナンバー確認書類と本人確認書類の組み合わせにつきましては、『マイナンバー確認書類および本人確認書類について』をご確認のうえ、ご提出いただきますようお願い申し上げます。

ご不明点などございましたらカスタマーサービス部までご連絡ください。

2020年4月1日以降にご提出いただく本人確認書類

顔写真の貼付の有無にかかわらず、**本人確認書類の写しを2種類**

例

- ① 運転免許証のコピー + 健康保険証のコピー
- ② 運転免許証のコピー + 個人番号カードのコピー
- ③ 住民票の写し + 健康保険証のコピー

※合わせてマイナンバー確認書類のご提出が必要となります。

ご留意事項

不備等により2020年3月31日までに一度書類をご提出いただいていたとしても、再提出いただいた書類が4月1日以降に弊社に到着した場合には、追加で本人確認書類のご提出をお願いいたします。

毎月定期購入サービスのスケジュール

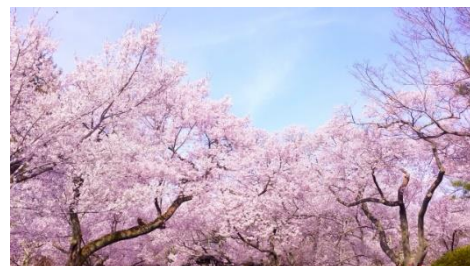
今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2020年 4月分	受付終了	受付終了	4月6日(月)	4月16日(木)
2020年 5月分	受付終了	4月21日(火)	5月7日(木)	5月19日(火)
2020年 6月分	4月30日(木)	5月27日(水)	6月8日(月)	6月18日(木)
2020年 7月分	6月4日(木)	6月24日(水)	7月6日(月)	7月16日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

4月	10日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
	13日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルクの銀行休業日
5月	1日(金)	労働者の日	ルクセンブルクの銀行休業日
	21日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルクの銀行休業日
	25日(月)	戦没者記念日	ニューヨーク証券取引所休業日
6月	1日(月)	聖霊降臨祭	ルクセンブルクの銀行休業日
	23日(火)	建国記念日	ルクセンブルクの銀行休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様の負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

*リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



2020年4月3日

ありがとう投信株式会社

代表取締役社長 長谷俊介

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」に係る 弊社の実績について(2020年3月末基準)

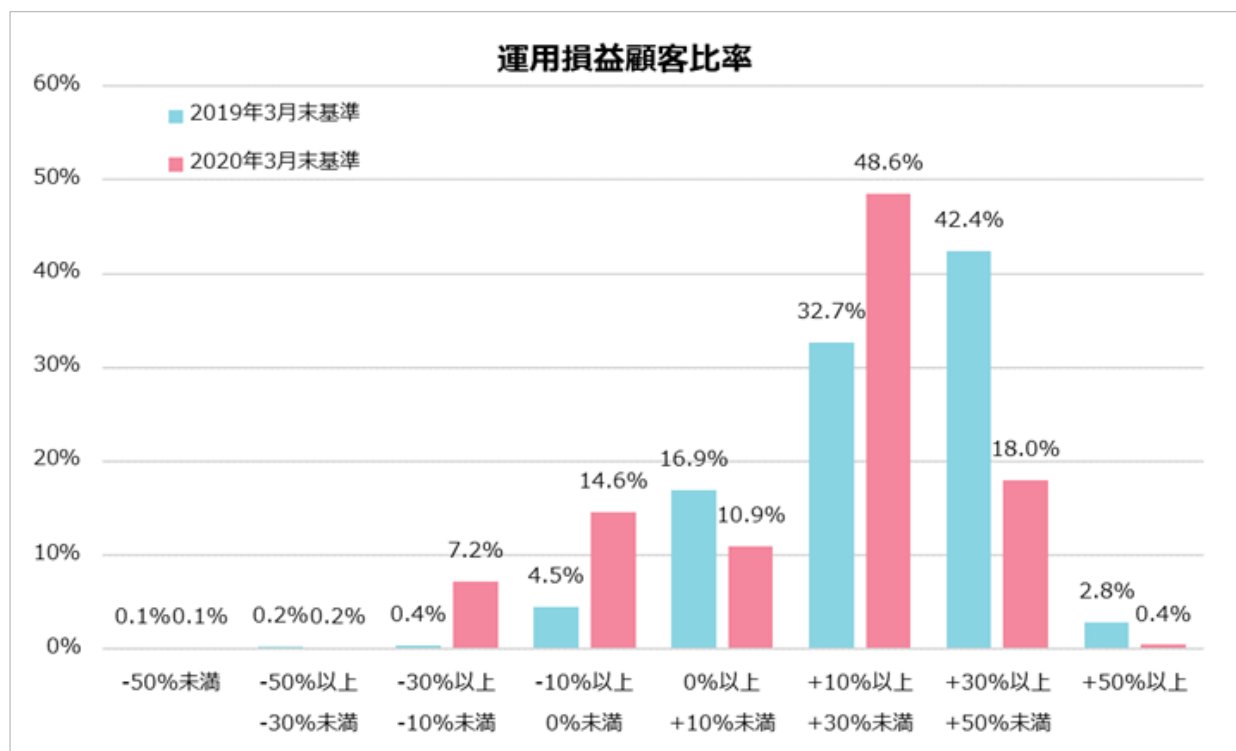
金融庁が公表を行った「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について、弊社の実績(2020年3月末基準)をご報告申し上げます。

※共通 KPI の定義・算出方法は金融庁ホームページをご参照下さい(<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>)

■投資信託の運用損益別顧客比率

お客様にご購入いただいたありがとうございますファンドの運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。ありがとうございますファンドを購入されて資産運用されているお客様のうち、**77.9%の方が運用損益でプラス**となっております。2019年3月末、2020年3月末の実績を併記しています。

運用損益がプラスの顧客の割合	
2019年3月末基準	94.8%
2020年3月末基準	77.9%



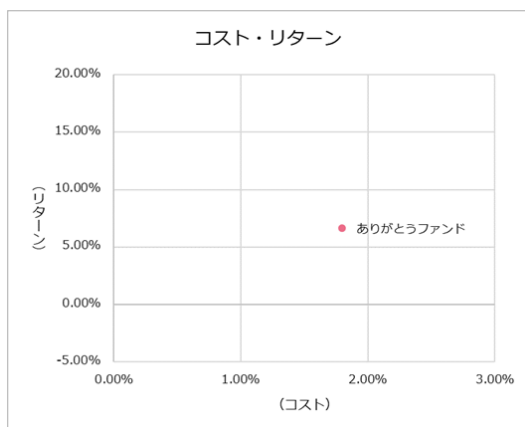
※2020年3月末時点の投信残高に対するトータルリターンで算出。2004年9月1日のありがとうファンド設定日からの2020年3月末までの全期間を対象。

※投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出した各損益率の分布。対象のお客さま全体を100%として、それぞれの運用損益に該当する顧客数比率をグラフ化。

お客さまにご購入いただいたありがとうございますファンドのコストに対するリターンおよびリスクに対するリターンを公表しております。(弊社はありがとうファンド 1 本のみのため残高加重平均値は同一の値となります)

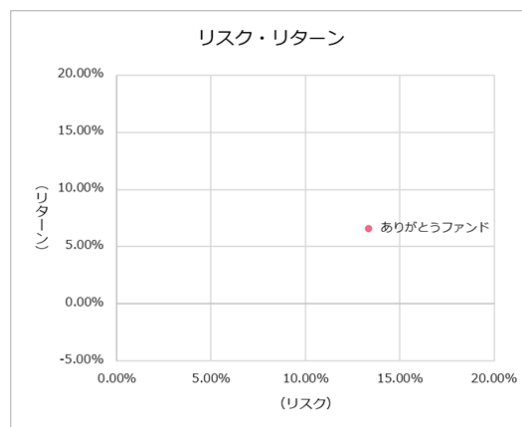
【2019 年 3 月末】

■投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



銘柄名	リターン	コスト
ありがとうファンド	6.61%	1.80%
残高加重平均値	6.61%	1.80%

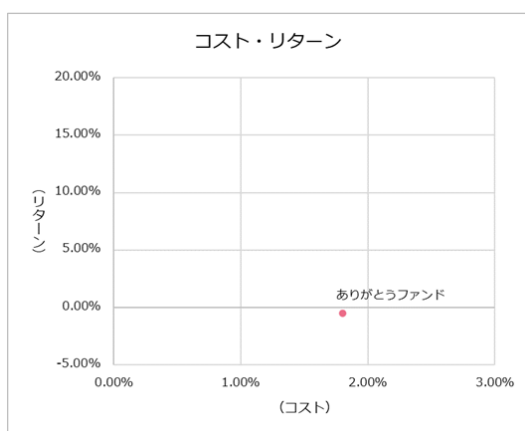
■投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



銘柄名	リターン	リスク
ありがとうファンド	6.61%	13.34%
残高加重平均値	6.61%	13.34%

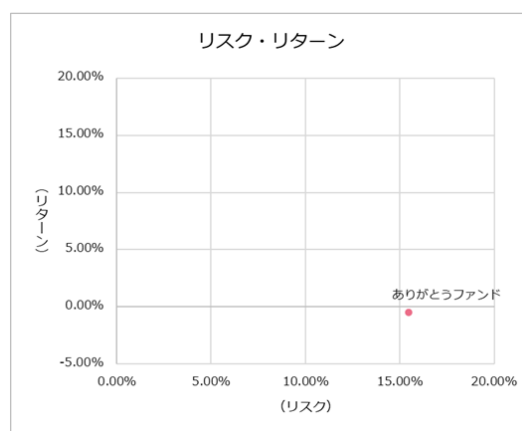
【2020 年 3 月末】

■投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン



銘柄名	リターン	コスト
ありがとうファンド	-0.48%	1.80%
残高加重平均値	-0.48%	1.80%

■投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン



銘柄名	リターン	リスク
ありがとうファンド	-0.48%	15.45%
残高加重平均値	-0.48%	15.45%

※リターン: 過去 5 年間の年率リターン(年率換算)

※リスク: 過去 5 年間の年率リスク(年率換算)

※コスト: 目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の上限値としております。販売手数料はかかりません。

＜本件に関するお問合せ＞

ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部

フリーコール:0800-888-3900 (10:00-16:00 土日祝・年末年始を除く)